

採点基準 英語

3

B 3点×5問

設問 次の日本語に合う英文になるよう、空所に適する語を1語ずつ入れて、文を完成させなさい。

(1) 私は街の中心部にある美容院で、美容師に髪を切ってもらいました。

I had () () () by a stylist at a salon in the city center.

(2) 社内の全コンピューターにインストールされなければならない新しいソフトウェアは、問題を引き起こしています。

The new software, which () () () installed on every computer in the office, is causing some issues.

(3) 数ヶ月の練習後、彼女の演技は私の予想よりもずっと良いものでした。

After months of practice, her performance was () () () I had expected.

(4) ハワイ旅行を中止すべき理由が何も見つかりません。

I can't find () () () we should cancel the trip to Hawaii.

(5) 彼女はお姉さんのためにケーキを丁寧に作りました。

She carefully baked () () () her sister.

【基準】

各完答 大文字・小文字は不問。スペルミス・語形ミスは1箇所でもあれば不可 (各-3点)

(1)	my	hair	cut
(2)	has [needs]	to	be
(3)	much [way, far, even, still]	better [nicer]	than
(4)	any	reason [reasons]	why [that]
(5)	a [the]	cake	for

C 20点

【設問】 Write your answer in English to the following question in 70 to 90 words.

Which country would you like to visit? Choose one country and write your opinion. Give at least two reasons for your opinion.

【解答例】

I would like to visit Australia for three reasons. Firstly, I am interested in its wildlife, such as kangaroos, koalas, and many other animals that are not found in Japan. Secondly, Australia is famous for its beautiful natural scenery, and I would love to see it in person. For example, I want to visit the Great Barrier Reef. Thirdly, as English is the official language of Australia, I would have the opportunity to improve my English skills by communicating with people there.

1. 語数・英語の正しさ

a. 語数・段落数

ミスの種類	減点数
語数制限を満たしていない (= 59 語以下/101 語以上)	-20

b. 英語の正しさ

ミスの種類	減点数
スペルミス	-1
可算名詞が無冠詞単数	-1
単複の誤り	-1
動詞の語形の誤り	-1
語句の誤り	-1
構文レベルの誤り	-2

減点が配点を超える場合は0点。

2. 内容面

以下の設問指示を無視しているものは、英語の誤りとは別にそれぞれ該当の点数を減ずる。

Which country would you like to visit? Choose one country and write your opinion. Give at least two reasons for your opinion.

(どの国を訪問したいか? 1つの国を選び、あなたの意見を記述しなさい。答えの中に少なくとも2つの理由を書くこと。)

ミスの種類		減点数
意味不明	①単語レベルで意味不明	-1
	②句・節レベルで意味不明	-1
	③文レベルで意味不明	-2
構成・内容	④全く無関係な事柄について書いている	-20
	⑤意見表明とはいえない	-3
	⑥論点が質問内容から外れている	-6
	⑦文章構成不適切 先に自分の意見・立場をはっきりさせてから論じていないもの*	-6
	⑧立場を取った理由が2つ以上書かれていない	-14
	⑨論理不整合がある(文単位)	-3
	⑩全体を一貫した論理不整合がある	-10

減点が配点を超える場合は0点。

*理由や事例を述べてから、最後に意見・立場を示すような、通常の英語の論述展開(意見→根拠)から大きく逸脱しているもの。

4

(2) (5点×2=10点)

〈設問指示〉 下線部^awhich および^bcertain groups of patients はそれぞれどのようなものを指していますか。本文に即して 40 字程度の日本語で具体的に説明しなさい。ただし句読点も字数に含め、アルファベットや数字は 1 マスに 1 字入れること。

〈解答例〉 ①～③の番号は下表の部分との対応を表す。

(a) ①太り過ぎの人たちが②自制心がないとみなされ, ③職業や賃金の面で差別に直面すること。(39 字)

(b) ①BMI が 30 以上の人と, ②BMI が 27 以上かつ③別の体重関連の健康問題がある人たち。(40 字)

【下線部・該当箇所】

(a)
In the United States, ①overweight people ②are seen as lacking self-control and therefore ③face discrimination in jobs and wages

(米国では、①太り過ぎの人たちは②自制心がないとみなされるため, ③職業や賃金面での差別に直面し)

(b)
①those with a body mass index (BMI) of 30 or more (which is the clinical definition of obesity), or ②those with a BMI of 27 or more (which is considered overweight) and ③another weight-related health problem, like high blood pressure.

(肥満の臨床的定義である ①肥満度指数 (BMI) が 30 以上の人と, 過体重とみなされる ②BMI27 以上かつ高血圧など ③別の体重関連の健康問題を抱える人々向けである。)

【基準・配点】

- ・要素が揃っていても、接続語句などの過不足により意味が異なる場合は、その項目は 0 点とする。
- ・以下に言及のない誤訳・ミス・漏れは 1 つマイナス 1 点を原則とするが、各部分の配点を超えてはならない。 特記なく「誤訳」とある場合はマイナス 1 点。
- ・解答欄をはみ出して解答しているもの (字数オーバー) は各-5 点 (0 点) とする。

(a)

箇所・配点	要素・盛り込むべき内容
① 1点	overweight people 「太り過ぎの人たち」
② 2点	to boost glass recycling rates 「ガラスのリサイクル率を高めるために」
	・ be seen を受動態として訳出していないものは減点 (−1点)。
② 2点	another weight-related health problem 「職業や賃金面での差別に直面する」
	・ ・ discrimination を「区別/識別」とした場合は減点 (−1点)。

(b)

箇所・配点	要素・盛り込むべき内容
③ 2点	those with a body mass index (BMI) of 30 or more 「BMIが30以上の人」
	・ a body mass index は「ボディーマスインデックス」と訳出している場合は減点 (−1点)。 ・ those を「それら」と訳出している場合は減点 (−1点)。 ・ or more を「より上の」など、BMI=30を除外している場合は減点 (−1点)。
④ 1点	those with a BMI of 27 or more 「BMIが27以上の人」
	・ those を「それら」と訳出している場合は減点 (−1点)。 ・ or more を「より上の」など、BMI=30を除外している場合は減点 (−1点)。
⑤ 2点	another weight-related health problem 「別の体重関連の健康問題を抱える」
	・ 前の部分の those with にかかっていることが伝わらなければ不可 (−2点)。 ・ weight は「重量」などとした場合減点 (−1点)。

(2) (5点)

〔設問指示〕 下線部(a)を和訳しなさい。

〔解答例〕 ①～④の番号は下表の部分との対応を表す。

①彼ら（古代エジプトの人々）の神々の1人であるトトは②他の神々の書記であり、③エジプト人に文字を書く技術を教えたのは彼だ④と信じていた。

【和訳箇所】

④believed that ①one of their gods, Thoth*, ②was the scribe* for the other gods and ③that it was he who taught Egyptians the skill of writing.

【基準・配点】

- ・要素が揃っていても、接続語句などの過不足により意味が異なる場合は、その項目は0点とする。
- ・以下に言及のない誤訳・ミス・漏れは1つマイナス1点を原則とするが、各部分の配点を超えてはならない。特記なく「誤訳」とある場合はマイナス1点。

箇所・配点	要素・盛り込むべき内容
① 1点	one of their gods, Thoth 「彼ら（古代エジプトの人々）の神々の一人であるトトは」
	<ul style="list-style-type: none"> ・“one of their gods, Thoth” を同格表現以外で訳していると判断できるものは不可（-1点）。 ・”their” を「それら」と訳しているものは減点（-1点）。 ・“gods” は「神」も許容。それ以外の誤訳は減点（-1点）。
② 1点	was the scribe for the other gods and 「他の神々の書記であり」
	<ul style="list-style-type: none"> ・”was” は時制の一致により「～であった」など過去形で訳しているものは不可（-1点）。 ・”the other” 「他の」のみ許容。「片方の、もう一方の」などは不可（-1点）。 ・“gods” は「神」も許容。それ以外の誤訳は不可（-1点）。
③ 2点	that it was he who taught Egyptians the skill of writing 「エジプト人に文字を書く技術を教えたのは彼だと」
	<ul style="list-style-type: none"> ・“taught Egyptians the skill of writing” を第4文形以外で訳していると判断できるものは減点（-1点）。 ・形式主語構文など、強調構文以外で訳していると判断できるものは不可（-2点）。
④ 1点	believed that 「と信じていた」

(5) (5点)

〈設問指示〉下線部(c) について、なぜプサムティク 1 世はがっかりしたのか、50 字以内の日本語で述べなさい。なお、句読点も字数に含めます。

〈解答例〉①～③の番号は下表の部分との対応を表す。

①子供たちがエジプト語を話してくれることを期待していたが、②最初に③フリギア語の単語を④発したから。(46 字)

【下線部・該当箇所】

②they rushed to him holding out their hands, saying 'becos, becos'. He told the king, who then asked his advisers what language it was. 'It is the word for "bread" in the Phrygian language*', they said. ④This disappointed Psamtik, ①who had hoped that the children would come out with an Egyptian word.

(②子供たちは手を広げて「ベコス、ベコス」②と言いながら羊飼いのところに駆け寄ってきた。彼はそれを王に告げ、王は顧問官たちに何語なのか尋ねた。③それはフリギア語で「パン」を意味する言葉だと彼らは言った。①子供たちがエジプト語を話してくれることを期待していた④プサムティクは、これにがっかりしてしまった。)

【基準・配点】

- ・要素が揃っていても、接続語句などの過不足により意味が異なる場合は、その項目は0点とする。
- ・以下に言及のない誤訳・ミス・漏れは1つマイナス1点を原則とするが、各部分の配点を超えてはならない。特記なく「誤訳」とある場合はマイナス1点。
- ・解答欄をはみ出して解答しているもの(字数オーバー)は-5点(0点)とする。

箇所・配点	要素・盛り込むべき内容
① 3点	<p>who had hoped that the children would come out with an Egyptian word. 「子供たちがエジプト語を話してくれることを期待していたが」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「had hoped」は「願っていた／望んでいた」は許容。「思っていた」などの意識も意味が通じれば広く認める。対応する訳がない場合は減点(-1点)。 ・「come out with」は「発する／口に出す」など「話す」に類する表現であれば広く認める。対応する訳がない場合は減点(-1点)。 ・必須単語は「エジプト語」「子供たち」。ない場合は(各-1点)。 ※「子供たち」は主語、「エジプト語」は come out with の目的語でなければ不可(各-1点)
② 1点	<p>They (rushed to him holding out their hands,) saying ('becos, becos'.) 「最初に～を発したから」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・③の「フリギア語」を目的語としてとらえられていないものは不可(-1点)。 ・文末表現が「～から、～ため」で終わっていないものは減点(-1点)。
③ 1点	<p>It is the word (for "bread") in the Phrygian language', 「フリギア語の単語を」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必須単語は「フリギア語」。ない場合は(-1点)